

ANNUAL REPORT 2017

アニュアルレポート



知の融合が創り出す化学。



日産化学グループは、事業活動を通じて 持続可能な社会の実現に貢献します

◇地球環境の保全に対する意識が高まるにつれ、新しい技術と商品が求められています。

この要請に対して、デファクトスタンダード(事実上の標準)となる技術を確立し、社会の持続的発展に寄与する最先端材料を創出するとともに、グローバルな市場ニーズに応える、安価で十分な機能を備えた製品を提供します。

◇世界的な人口の増加、高齢化が進行しています。

食糧不足の深刻化、国内農業における担い手の減少が懸念されるなか、農作物収穫量の安定と拡大、農作業の効率化および省力化につながる農薬を開発します。

また、人々のより健康で豊かな生活のために必要な医薬品の開発に取り組みます。

◇時代の変化が加速度を増し、さまざまな社会的課題が表面化しています。

課題解決に向けて、自社の英知を結集することに加え、社外の知を融合することで、技術革新に挑戦します。

本レポートの編集方針

当社は1992年から、化学物質の全ライフサイクルにわたって「環境・健康・安全」を確保する取り組みであるレスポンシブル・ケア活動を開始し、その内容を1999年より「環境・安全報告書」、2013年からは「CSRレポート」として公表してきました。

「CSRレポート」では、当社およびグループ会社のCSRに関する考え方、取り組みについて、ステークホルダーの皆様に分かりやすくご報告することを心がけてきました。昨年より名称を「アニュアルレポート」と改め、事業概要、財務データのハイライトを加え、当社グループの事業活動をよりよくご理解いただける構成としました。なお、詳細な財務情報につきまして、英語版では「Financial Section」に記載しましたが、日本語版は当社の有価証券報告書をご覧ください。

今後も、持続可能な社会の実現へ貢献するため、CSR活動を深化させるとともに、報告内容を充実させ、本レポートがステークホルダーの皆様との有用なコミュニケーションツールとなることを目指してまいります。

対象期間

2016年度(2016年4月～2017年3月)

*労働災害データ(P54)は2016年1月～12月

対象範囲

日産化学工業株式会社の企業活動における環境・安全活動を中心に、当社グループの取り組みを記載しています。

*財務データには当社および連結子会社、持分法適用関連会社を含みます。

*非財務データは当社単体の数値です。

連結子会社：日星産業(株)、日産物流(株)、日産緑化(株)、日産エンジニアリング(株)、日本肥糧(株)、Nissan Chemical America Corporation(NCA)、Nissan Chemical Europe S.A.R.L.(NCE)、NCK Co., Ltd.(NCK)

持分法適用関連会社：サンアグロ(株)、クラリアント触媒(株)

グループ会社：上記子会社、関連会社に加え、(株)環境技術研究所、台湾日産化学股份有限公司(NCT)、日産化学制品(上海)有限公司(NCS)、Nissan Chemical Agro Korea Ltd.(NAK)、Nissan Chemical Do Brasil (NCB)

● 発行時期 2017年9月

(前回発行 2016年10月、次回発行予定 2018年9月)

● 発行頻度 毎年

● 参考にしたガイドライン

・GRIサステナビリティ・レポート・ガイドライン 第4版

・ISO26000

● 本レポートに対する質問の窓口

日産化学工業株式会社 経営企画部 CSR・広報室

TEL:03-3296-8320

メールアドレス:csr_pr@nissanchem.co.jp

CONTENTS

03	トップインタビュー
07	当社グループのビジネスモデル
09	SDGsと日産化学の取り組み
11	長期経営計画『Progress2030』ならびに 中期経営計画『Vista2021』
15	財務ハイライト
17	非財務ハイライト
19	製品紹介
19	社会のなかで活躍する日産化学の主要製品
21	環境配慮型製品

事業概要

23	機能性材料事業
25	農業化学品事業
27	医薬品事業
29	化学品事業
31	新事業企画
33	研究開発

CSRマネジメント

35	CSRの推進
36	コーポレート・ガバナンス
38	コンプライアンス
39	リスク管理
39	情報開示
40	バリューチェーン

レスポンシブル・ケア(RC)活動

41	レスポンシブル・ケアマネジメント
41	日産化学RCマネジメントシステム
42	RCに関する基本方針 RCにおけるマテリアリティの選定
43	RC中期計画の推進 RC監査
45	環境安全・気候変動対策
45	生産活動による環境負荷
46	環境・安全への設備投資と経済効果
47	エネルギー使用量、原単位
48	温室効果ガスの排出削減
49	環境パフォーマンス/水資源の有効利用
51	生物多様性保全
53	保安防災・労働安全衛生
55	化学品・製品安全

社会とのコミュニケーション

57	ステークホルダーへのコミットメントと対話
57	お客様とのかかわり
59	投資家とのかかわり
60	社会とのかかわり
61	社員とのかかわり

会社情報

65	国内外拠点
68	会社沿革
69	会社概要/役員
70	株式の状況
71	GRI ガイドライン対照表(G4)